

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」新鈴鹿校		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		2024年12月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○こどもたちが「来たい」「楽しみ」と思ってもらえていること。	・こどもたちが自らきらりへ行くことを楽しみにし、その楽しさを感じながら主体的に活動に取り組んだり、指導員ともやり取りしたりすることでなるべく抵抗感がないように工夫しています。	・引き続き来所を楽しみしてもらえるようにこどもたちに合わせて関わり方を考え、主体性を育めるよう工夫して参ります。

2	○保護者様からのお話を伺い、発達段階とのお話を基に計画を作成し個別支援を実施していること。	・計画更新の際は可能な限り保護者様のお気持ちを伺い、計画の作成や支援内容の組み立てをおこなっております。	・こちらの都合もありなかなかお話しできない保護者様もおられますので必ず対面でなくともお話が伺えるようにすることでより充実した支援内容に近づけると考えています。
3	○保護者様とのコミュニケーションを大切にしていること。	・療育のフィードバックの保護者様とお話しする際に、子どもたちのお話だけでなく保護者様自身のお話や雑談をまじえることで親しみやすさを感じてもらえるようにしています。	・対面だけでなくラインやSNSを通じて保護者様とコミュニケーションが取れると良いと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○保護者様同士や他の機関の子どもたちと関わる機会がないこと。	・イベントを開催した際や、近所の公園を利用させていただいた際にご希望に合わせて保護者様同士や地域の子もたちと関わる機会ができれば良いと考えています。	・感染症が落ち着いたタイミングでイベントを開催し普段会わない子どもたちやそのご兄弟と顔合わせが出来るようにします。
2	○保護者の方へのアドバイスや研修の機会が少ないこと。	・送迎の際のフィードバックを行い、コミュニケーションは取るように設定しているが、職員の経験不足によりフィードバックにおいて支援の様子を伝えるだけでアドバイスに至っていないことが考えられます。	・社内外研修に積極的に参加し、経験と知識を増やしていく必要があります。また保護者の方からお悩みを聴く時間も設定していこうと考えています。

3			
---	--	--	--

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		子どもサポート教室「きらり」新鈴鹿校				公表日	2025年 2月 15日		
						利用児童数	16名	回収数	16名
		チェック項目				ご意見	ご意見を踏まえた対応		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない				
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	2	3	・物理的に難しい	限られたスペースではございますが、可能な限り有効に使えるよう活動人数とレイアウトを考えておりますのでご理解のほどよろしくお願いたします。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16				・法令に則り、配置をしております。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	6		・駐車場が近いとありがたい	15時以降はMAINEatONIGIRIさんのご厚意で駐車場をお借りしておりますのでご利用ください。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16				・日々消毒と清掃をして清潔にしています。		
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	2					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	2			・今年度も保護者様へ評価表を記入していただきご意見を元に改善に努めています。		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	2					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	2		1	・利用者様一人一人に合わせた個別の支援計画を設定しています。		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	2			・支援計画と利用者様の発達段階に合わせて支援を行っています。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1			・目標設定をもう少し高くしても良いと思います ・必要に応じて変化を取り入れつつ、発達段階に合わせて活動を継続しています。挑戦する機会として年齢相応の課題にチャレンジする機会も設定しております。		
11	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	10	1		5	・交流の機会はないが、ご兄弟と関わる機会や近隣の児童と出会った際はあいさつ等簡単に接する機会を設けている。			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	1					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	3	3	・遊び方や関り方のアドバイスや、日常生活でできる遊びを提案させていただいています。		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1	1	1	・送迎の際にその日の様子に加えてアドバイスやお悩みを伺う機会を設定しています。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16						
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3	2	5	・同じようなお悩みを抱える保護者の方同士が繋がることや、イベントにはご兄弟も参加していただき交流を図っています。			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	3		1		・随時ご相談していただき、可能な場合はその場で解決を図り、課題が残る際は職員間で話し合いながら解決できるよう対応しております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	2		3		・ラインやSNSで日頃の療育やイベントの様子などお知らせしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2		2		・入口に各マニュアルを掲示し、そのマニュアルに沿って訓練も行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	3		5		・毎月様々な被害を想定しながら避難訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14			2		・契約の際に各保険の説明に加え、有事の時には速やかに状況説明と連絡が取れるようにlineおよび電話にて繋がっております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16					・子どもたちが感情を表現しながら素で活動する姿を見て、安心があるからこそこの姿だと感じています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16					・きりりに来るのが楽しみだというお声をいただいています。私たちもみなさんが来てくれるのをいつも楽しみに待っています！
	29	事業所の支援に満足していますか。	16					・これからも子どもたちにとって意味のある活動を通して、成長と一緒に感じていきたいと思っています。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」新鈴鹿校	公表日	2025年 2月 15日
------	--------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	活動場所を分けることによって一人当たりの使用場所を確保しています。	十分に広くはないが、使用箇所を割り振ることと一緒に活動することで窮屈さを感じさせないようにしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○	法令に則り職員を配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	事業所内すべてがバリアフリーではないですが限りなく段差をなくし、安全に活動できるようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○	毎日清掃を行っております。また感染症対策として換気や消毒もこまめに行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○	必要に応じて個別の部屋や空間を用意し、クールダウンや静かな場所での活動が可能です。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	朝礼をはじめ、気になることは随時報告するようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者の評価は必要だと感じているが、組織としてなかなか行えていないのが現状です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○	社内研修と外部研修が定期的で開催されており、その研修に各職員1名は参加し学びを深めています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○	療育の様子を観察したり、保護者様から伺ったお話を基に計画を作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○	担当の指導員からも療育の様子を共有してもらい、すべての情報に基づいて計画を作成しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	5領域(生活・運動・認知・言語・社会性)に則って計画を作成しております。また、内容も一人一人の発達段階に合わせた活動を考慮して設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		療育前・後の小会議を積極的に行い、連携を取っていくようにします。また、保護者様からのお話も積極的に伺いながら必要な活動を考えていきます。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		朝礼の際に、連絡事項と振り返りを共有し一人のお子さまを職員全員で把握出来るように努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最長6ヶ月に1度計画を更新し、適切なサイクルでお子さまの成長を把握しております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		協力医として新藤小児科さんに連携のお願いをしております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて支援会議や引継ぎ会議に参加し、情報共有を行っております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		なかなか交流する機会が設けられないのが現状ですが、必要性は感じている為、機会に応じて交流していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		ペアレントトレーニングまでとはいかないが、フィードバックの際にお話を伺い、必要に応じてアドバイスをさせていただきます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者様のご意向を伺いながら、お子さまの活動の様子と発達段階に合わせて計画を作成しております。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎に来ていただいた際に、お話しする時間を設け、保護者様のお悩みを伺うようしています。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申入れがあった際には迅速に対応しております。		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○				
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		書類や個人情報は鍵付きのロッカーに保管し外部へ出さないように徹底しております。		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○				
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		年間の防災計画を策定し、毎月計画に基づいた避難訓練を行っております。		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		フェイスシートにて薬の状況、アレルギー、その他持病について確認をしています。		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				食事の提供はありません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		気付いたことがあればその都度ヒヤリハットを作成し、共有しております。		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束の概要は契約書に記載し、契約の際に詳しく説明させていただいております。			